

「モノ認識」と「モバイル」を中心に  
IoTで世界を変える

IoT × AsReader®  Digital  
Transformation

## 2023年8月期第3四半期 決算説明資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2023年7月14日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

**第一部：第17期（2023年8月期）第3四半期業績報告**

- （1）連結業績**
- （2）セグメント別業績**
- （3）地域別業績**
- （4）K P I**
- （5）株式関係**

**第二部：その他企業情報**

- （1）直近のリリース情報**
- （2）直近の展示会出展予定**



# 第一部：第17期（2023年8月期）第3 四半期業績報告



## (1) 連結業績

---



## 【損益状況】 2023年8月期第3四半期前年同期比較 (百万円)

	2022年8月期 第3四半期 (前期実績)	2023年8月期 第3四半期 (当期実績)	(前年同期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	1,822	1,227	▲ 594	▲32.6%
売上総利益	778	403	▲ 374	▲48.2%
売上総利益率	42.7%	32.9%		
営業利益	266	▲ 153	▲ 419	—
営業利益率	14.6%	—		
親会社株主に帰属する 当期純利益	198	▲ 143	▲ 342	—
当期純利益率	10.9%	—		
人件費	234	271	36	15.7%
減価償却費	12	29	17	133.5%
研究開発費	22	8	▲ 14	▲63.8%

### ■前年同期比較について

前期（2022年8月期第3四半期）については、海外大手飲料メーカー向けの大型納品やRFID関連の特需案件があったことが1つの要因でした。これらの案件は、今期（2023年8月期第3四半期）も継続してあると予想しておりましたが、世界的な設備投資の控えなどもあり延期などが続いており、また同規模の納品や特需が受注しきれなかったこともあり、前年同期比32.6%減の1,227百万円となりました。

### ■その他

#### (1)人件費

前年同期比において人員が増加している影響によるものであります。

#### (2)減価償却費

2023年1月に研究棟が完成し、当該物件の減価償却費が発生したことにより増加しております。

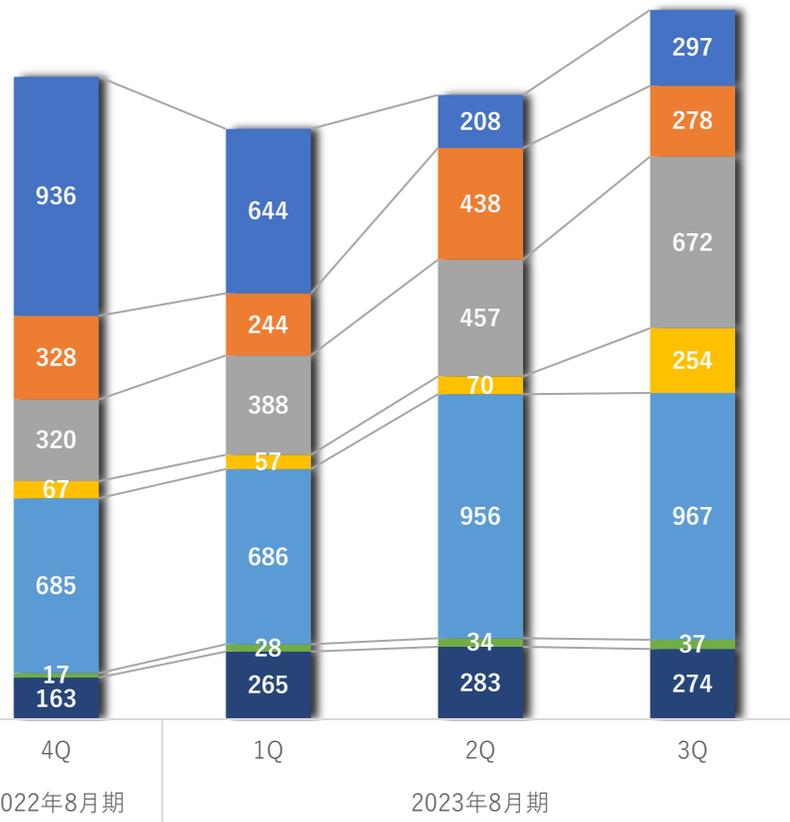
#### (3)研究開発費

画像認識技術関係の研究開発費の支出によるものであります。

## 【連結貸借対照表】2023年8月期第3四半期

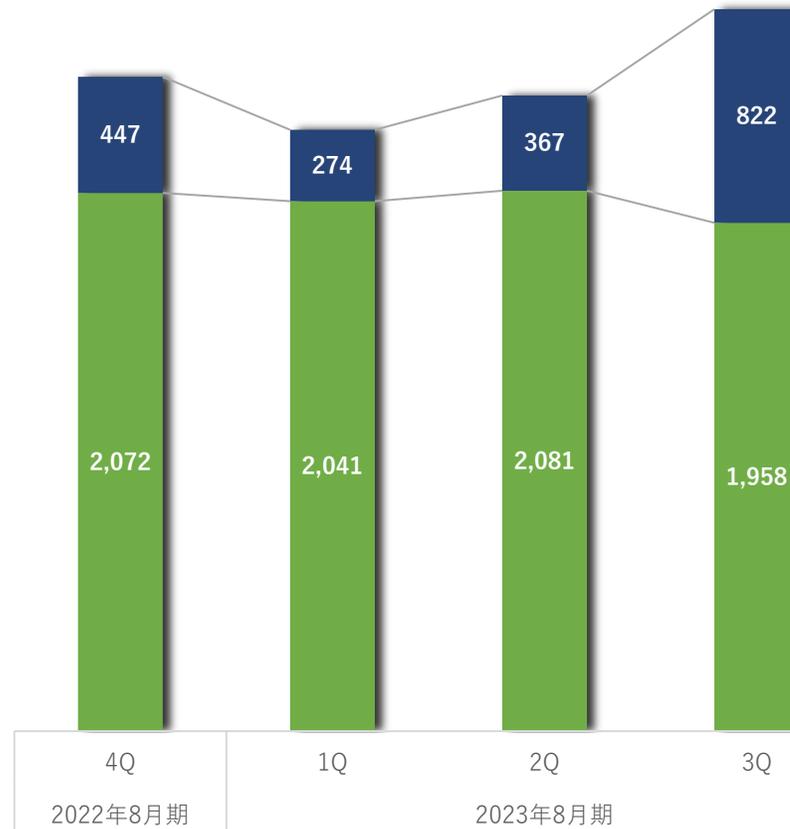
### (1) 資産

(百万円)



### (2) 負債及び純資産

(百万円)



#### 【(1) 資産関係】

- ① 売上債権の減少 160百万円
- ② 棚卸資産の増加 214百万円

#### 【(2) 負債及び純資産関係】

- 負債の増加
- ・ 短期借入金の増加 480百万円

■ 投資その他の資産 ■ 無形固定資産 ■ 有形固定資産 ■ 純資産 ■ 負債  
 ■ その他流動資産 ■ 棚卸資産 ■ 売上債権及び契約資産  
 ■ 現金及び預金

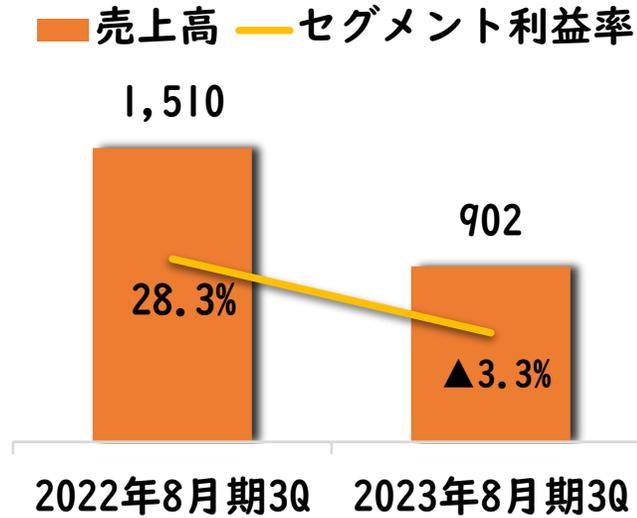
## (2) セグメント別業績

---

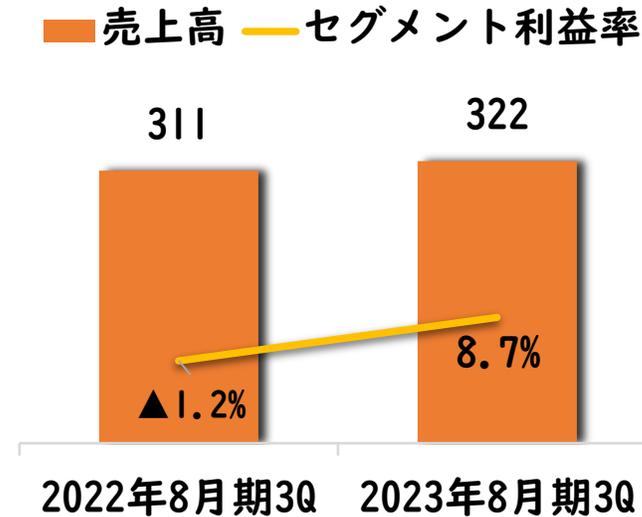


## 【セグメント別業績】

AsReader事業 (単位：百万円)



システムインテグレーション事業 (単位：百万円)



### ■AsReader事業

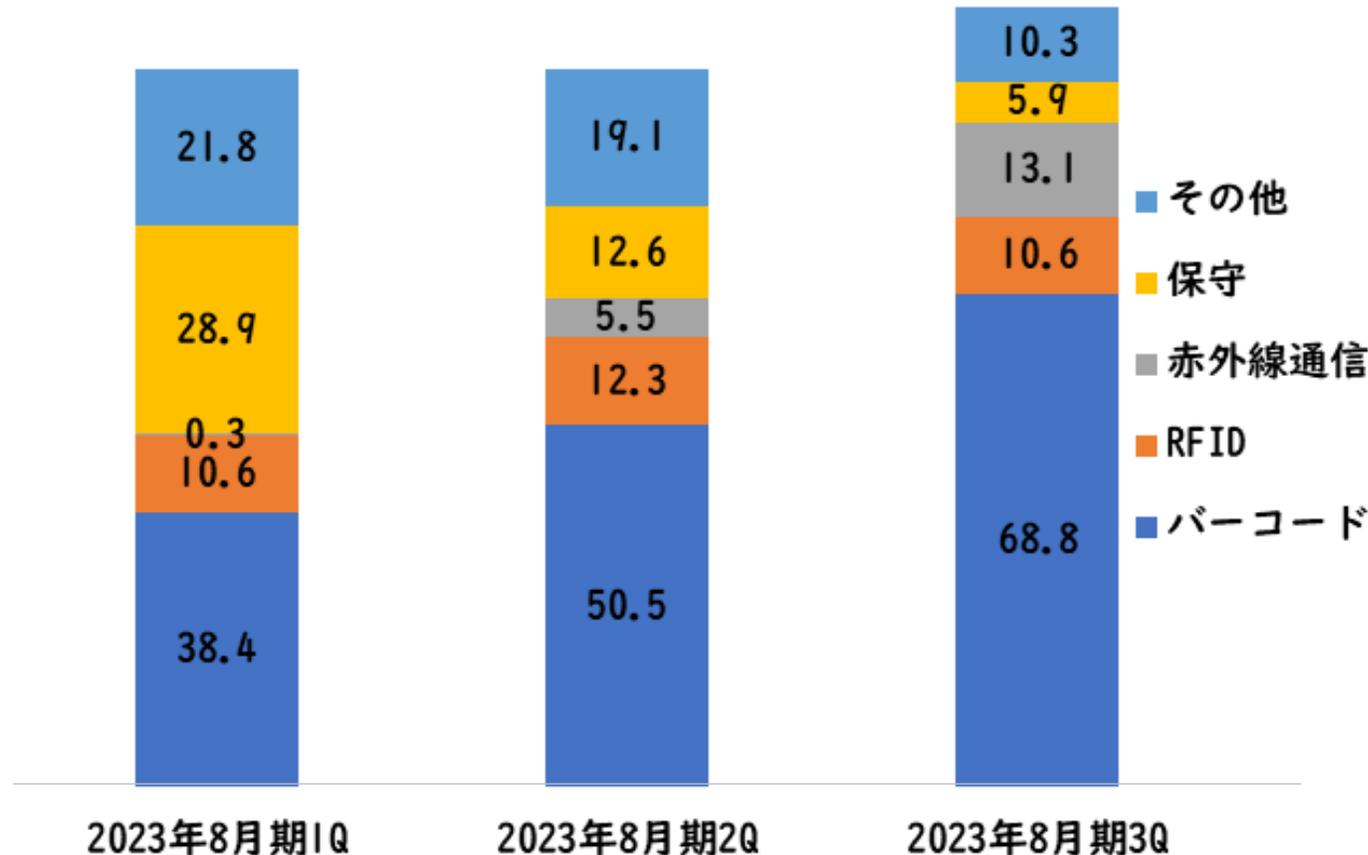
前期（2022年8月期第3四半期）については、海外大手飲料メーカー向けの大型納品及びRFIDの特需案件があったことが大きなプラス要因でしたが、当期（2023年8月期第3四半期）においても、その案件が継続すると見込んでおりましたが、それらの計画が延期されたこと、また、それ以外の大型案件や特需案件が受注しきれなかったこともあり、売上高は前年同期比40.2%減の902百万円となりました。

### ■システムインテグレーション事業

前期（2022年8月期第3四半期）は不採算案件が発生していたことによるものです。  
当期（2023年8月期第3四半期）はそれらの不採算案件を正常化させるとともに各案件が順調に進捗しており、セグメント利益率が9.9ポイント改善しております。

## 【AsReader事業 製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



### ■製品種類別の販売構成推移

2023年8月期第3四半期においても、前期から引き続き、バーコードリーダーの構成割合が多い結果となりました。これらは、既にある市場での専用機からのスマートフォンへの置き換え需要であり、2023年8月期通期においてもバーコードリーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

また、自動販売機での赤外線通信リーダーは、当社がシェアを押さえつつあり、これから伸びてくるものと予想しております。

店舗系企業がコロナ開けから業績回復してくるにより、世界的にRFID案件や画像認識案件なども増加すると考えております。また、画像認識技術のサービスも、これからリリースを実施していきますので、それらも今後を増やしていきたいと考えております。

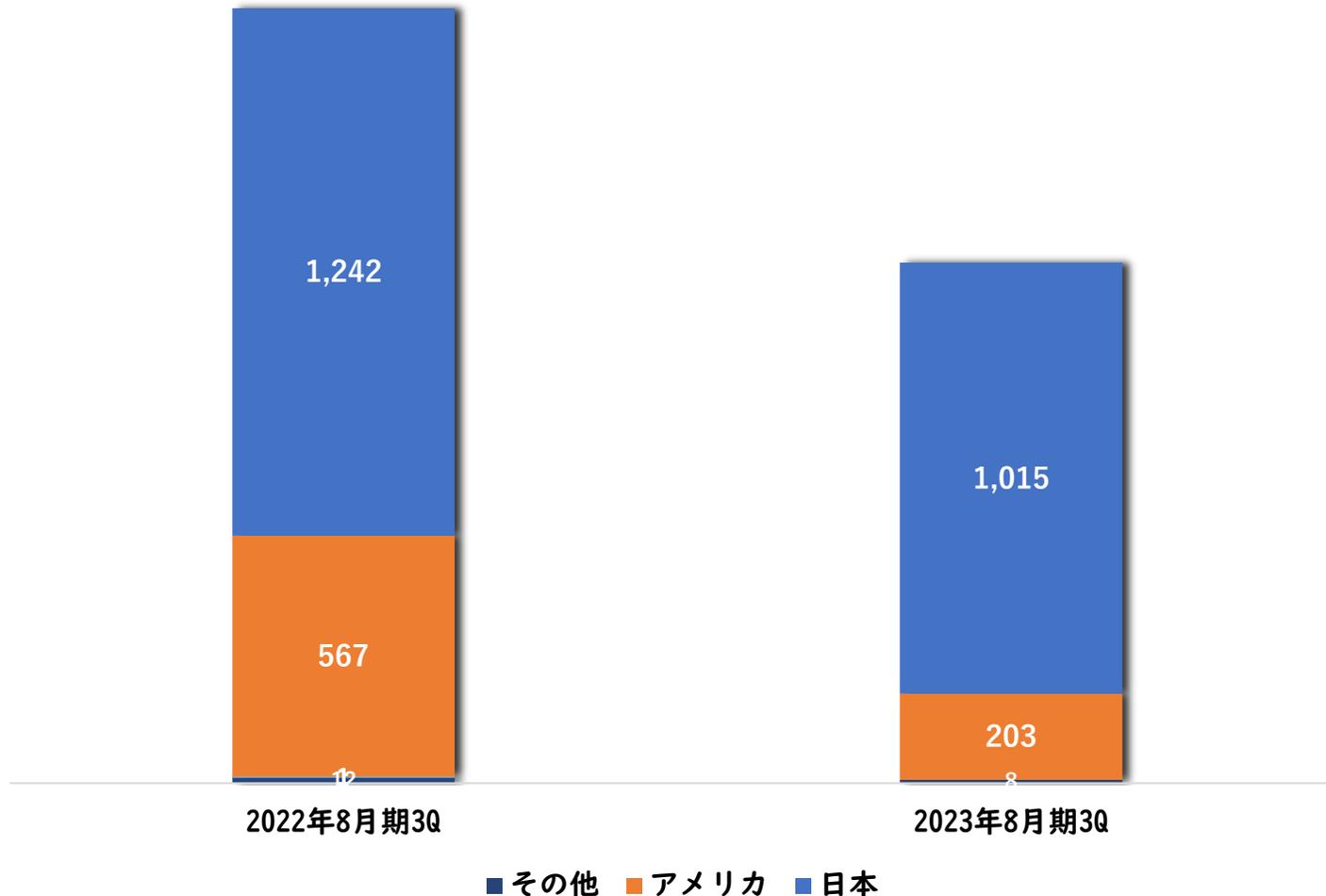
## (3) 地域別業績

---



## 【地域別売上高】

(単位：百万円)



### ■ 日本

企業の設備投資の控えなどにより、予定していた大型案件が来期（2024年8月期）にずれることなどが要因で、前年同期比▲18.2%となりました。

### ■ アメリカ

前期（2022年8月期）は海外大手飲料メーカー案件の大型納品がありましたが、当期（2023年8月期）も継続を見込んでおりましたが、それらの延期、また、その他の同規模の納品が受注しきれず、前年同期比▲64.1%となりました。

### ■ その他

欧州、中国での販売になります。

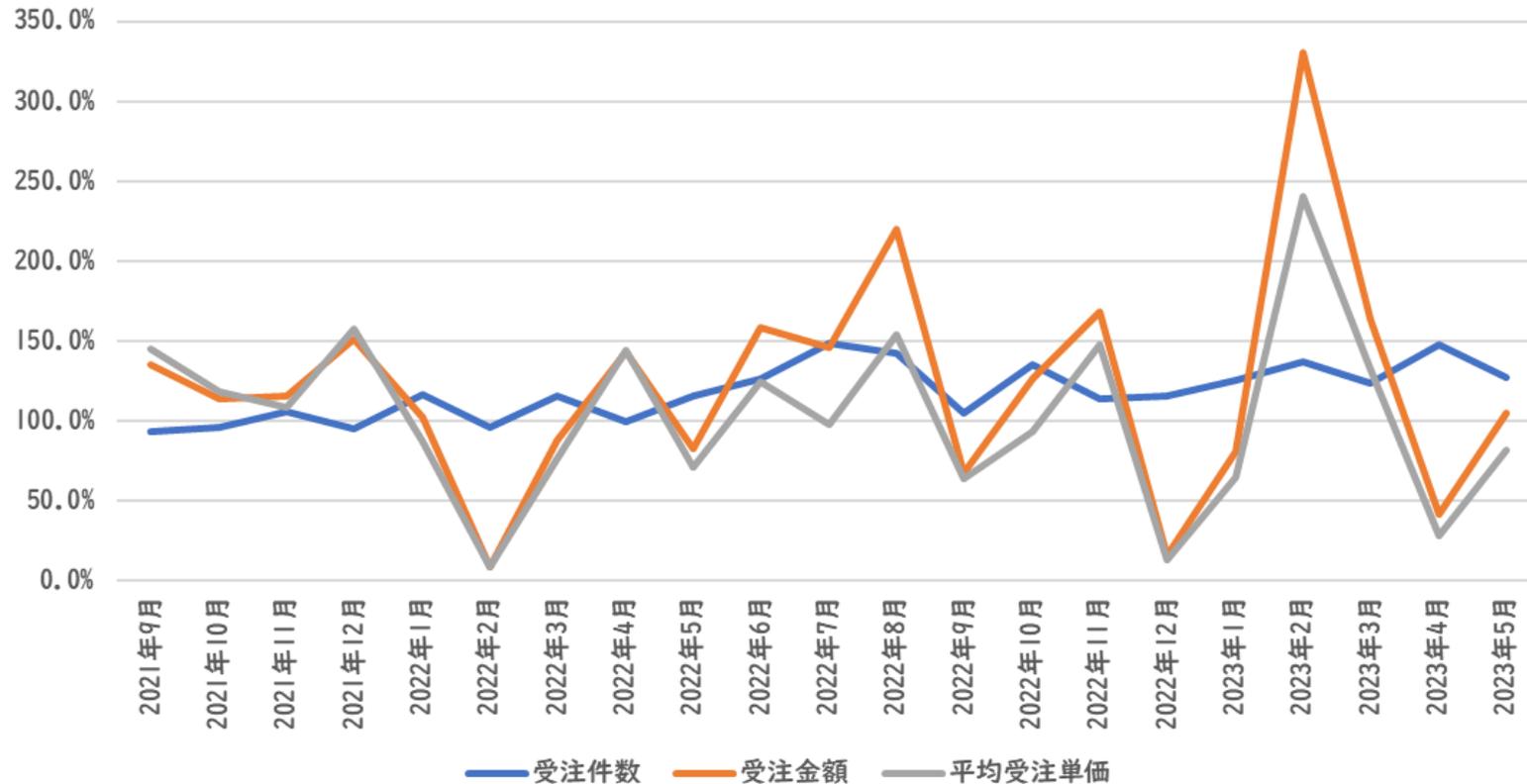
(注) アメリカ、欧州、中国の売上は決算月のズレの影響で7月から翌年6月までの実績で連結財務諸表を作成しております。

## ( 4 ) KPI

---



## 【受注関連情報（前年比率）】



## 【総括】

2022年9月～2023年5月については、受注件数は増加したものの、受注金額と平均受注単価は減少となっており、2022年10月に発表した第2四半期業績予想に対しては未達の結果となりました。受注件数は増加で受注単価が減少ということは、つまりは大型案件が景気等の影響で延期等になったことが原因と考えております。今後はインバウンドの需要が増えることなどからも、特に店舗系の大型案件も進捗していくものと考えております。

## 【受注件数】

期間中、前年同月比を上回る受注獲得を実現しており、結果、2023年8月期3Q時点においては前年比増加で推移しております。

## 【受注金額、平均受注単価】

2022年12月の受注金額の前年比減少の影響が大きく、結果、2023年8月期3Q時点においては前年比減少で推移しております。

## (5) 株式関係

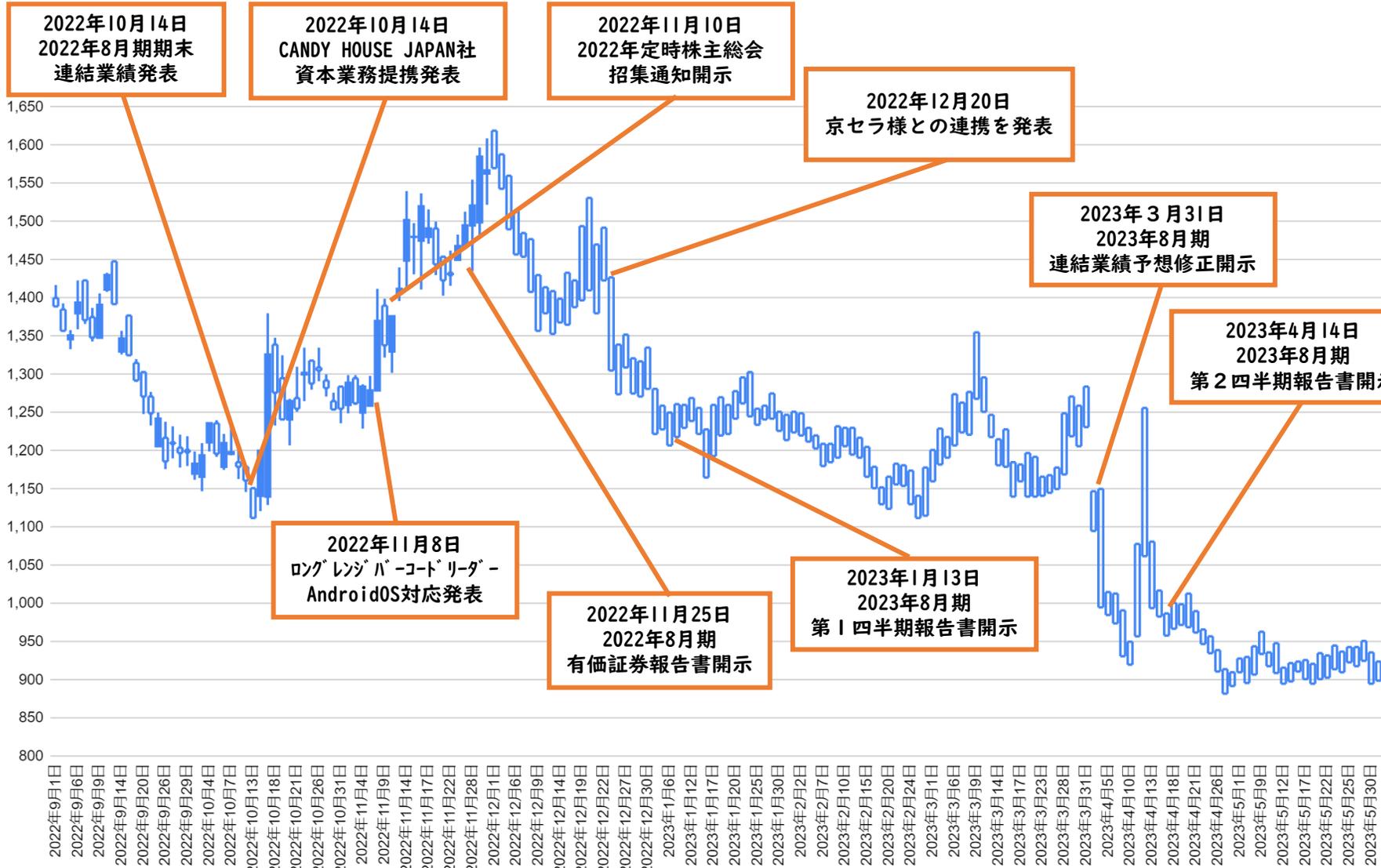
---



【大株主の状況】

株主名	2022年8月31日時点		2023年2月28日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	3,200,000	45.35%	3,200,000	45.12%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	278,300	3.94%	278,300	3.92%	資本業務提携
鈴木規之	162,000	2.29%	162,000	2.28%	代表取締役
野村證券株式会社	122,200	1.73%			証券会社
楽天証券株式会社			121,300	1.71%	証券会社
熊本尚樹	121,000	1.71%	121,000	1.70%	取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	120,000	1.70%	120,000	1.69%	ベンチャーキャピタル
株式会社SBI証券	30,446	0.43%	62,130	0.87%	証券会社
薛文宝	60,000	0.85%	60,000	0.84%	執行役員
個人株主様	51,000	0.72%	51,000	0.71%	個人投資家
大川貴之	31,000	0.43%			従業員
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社			47,200	0.66%	証券会社
その他	2,879,454	40.81%	2,868,470	40.45%	2022年8月31日現在 7,069名 2023年2月28日現在 6,319名
合計	7,055,400	100.00%	7,091,400	100.00%	—

## 【株価推移】



・当期第3四半期累計期間（2022年9月1日～2023年5月31日）の株価推移を掲載しております。

・期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。

最高株価 1,585円  
最低株価 891円

・更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

## 第二部： その他企業情報

---



## (1) 直近のリリース情報

---



### 自動レジの実証実験を目的とする子会社を設立

# 株式会社自動レジ研究所

近年、人手不足解消やレジの待ち時間短縮・混雑緩和を目的として、セミセルフレジやセルフレジが開発され、小売業界を中心に導入が進められてきました。

アスタリスクは、この分野においてPOSレジ自動化を推し進める「レジ自動化推進委員会」を設立、人追跡レジAsRegi+の開発をはじめ、様々なソリューションを研究してきました。

今回、新たに子会社を設立することで、自動レジの実証実験にさらなる注力を行い、将来的な展開に向けた研究開発を加速させる専門組織を立ち上げることとしました。

自動レジの実証実験には、特許取得済の画像認識技術やセンサー技術、顔認証技術などを中心とした最新の技術が活用されます。これにより、顧客のスムーズな支払いプロセスと、店舗業務の効率化を実現することを目指します。

# 【導入事例】国際空港上屋株式会社様のインタビューページを公開

## AsReaderで実現！ペーパーレスと業務効率化！

日本で初めての共同上屋として創業。以来50年以上に渡って日本の航空物流を支えてきた国際空港上屋様。

長年に渡って行ってきた、紙と目視による荷物管理を刷新し、バーコードを使ったクラウド型管理システムに変更。その最前線でアスタリスクの各種リーダーが活躍しています。

AsReaderを導入するまでの経緯など、インタビューの詳細は以下のページにてご確認ください。

【導入事例】国際空港上屋株式会社様詳細ページ  
[https://asreader.jp/casestudies/casestudy\\_iact/](https://asreader.jp/casestudies/casestudy_iact/)



## (2) 直近の展示会出展予定

---



## 2. (2) 直近の展示会出展予定

### 【国内】

2023国際物流総合展（東京ビッグサイト）

開催期間：2023年9月13日（水）～15日（金）

対象：物流系

第3回スマート物流EXPO（東京ビッグサイト）

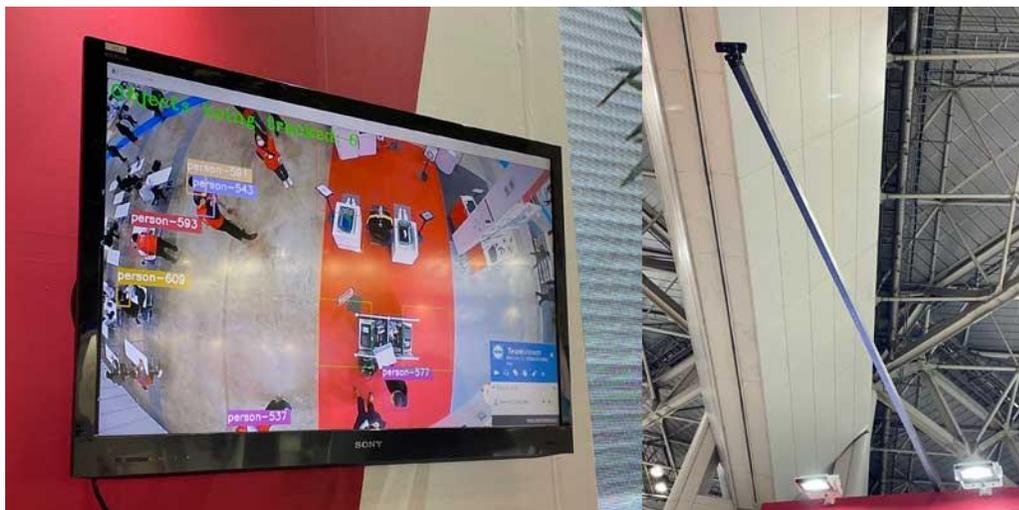
開催期間：2024年1月24日（水）～26日（金）

対象：物流系

リテールテックJAPAN2024（東京ビッグサイト）

開催期間：2024年3月12日（火）～15日（金）

対象：小売・流通系



### 【海外】

「2023 PACK EXPO Las Vegas」（アメリカ・ラスベガス）

開催期間：2023年9月11日（月）～ 9月13日（水）

対象：物流系

「NRF' 24 RETAIL' S BIG SHOW」（アメリカ・ニューヨーク）

開催期間：2024年1月14日（火）～ 1月16日（木）

対象：小売・流通系



## 【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他IRに関するご意見・ご質問は、「IRお問い合わせ」よりお問い合わせください。

## 【IRお問い合わせ】

(URL) [https://www.asx.co.jp/ir/other\\_info/inquiry/](https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/)

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

## 【メールマガジン開始のお知らせ】

株式会社アスタリスクの決算情報、プレスリリース等の企業情報を配信するメールマガジンの配信を行っております。

配信希望の方は、【IRお問い合わせ】よりご連絡ください。

配信の停止も、【IRお問い合わせ】よりご連絡ください。